

法 説 辻

岩手県曹洞宗布教師会三分間法話

合 掌

前沢町・耕雲院住職

森 住 俊 英

お檀家さんでMさんと云う人がおります。そのMさんのお家はお寺の後ろで、畑はお寺の前にあります。仕事に行くときには必ず山門を横切らなければなりません。

Mさんは、いつも通りぬけるときに立ち止まって、本堂に向かい合掌して通ります。時には急いでいるらしく、トラクターに乗ったまま帽子を取って頭を下げて通ります。この間もその姿を見かけました。私は遠くから見ていて、その姿についつい手を合わせてしまいました。何とも温かいおもいが伝わってまいりました。

Mさんの合掌は、ご先祖様に対して感謝の合掌であつたのでしょうか。家族皆んなの健康と子供達の活躍を祈つての合掌だったのでしようか。

そこで合掌について考えてみたいと思います。普段私達はいつも亡き人に対しお香をたいて、ご冥福を祈る合掌をしている人が多いと思います。もっとも大切なもう一つは、仏様をお手本として生きていく合掌があります。私達がこうして生きていくことが出来るお世話になっていることへの感謝の合掌です。そして生きることに何事

も怠ることなく、努め励むことが出来ますようにとお祈りする合掌です。

仏様の教えは悪いことをせず、明るく、正しく、共に人生を生きて行くことです。

多忙な毎日をご過ごしている中、時には一人心しずめ、合掌して、仏様と自分を照らし合わせてみては如何でしょうか。



ほとけに
出会う

曹洞宗岩手県宗務所

テレホン法話

☎ 0198-62-1121

心に残る

法話を

お聞き

下さい